

せいぶ

No.89 (2016年4月)

発行:上野西部地区住民自治協議会 総務・広報・人権部会
伊賀市上野福居町(上野西部公民館内)
<http://www.uenoseibu.com/>

総会日程を決定

運営委員会 開催

3月22日、上野西部地区市民センターにて運営委員会が開催されました。協議・議決・連絡報告された内容は次の通りでした。

*総会について

総会の日は5月21日(土)14時から西部地区市民センターにてと決定。

各部会の名簿確認・27年度事業報告・来期事業計画書及び予算書の提出は4月15日まで。

*決算と来年度予算について

一般会計の中間決算書が配布されました。来年度予算についてはほぼ今年度程度の規模(900万円)になるとの見通しが報告されました。

*連絡事項

イ) 忍者フェスタにて、道場の応援に協力要請があり各自治会から応援者を出すことになりました。

ロ) 菅原神社の春の御渡りが中止となったことの連絡。



運営委員会の様子

ハ) 往古川の水をきれいにしよう会の役員改選について役員候補の推薦を会長に一任することになりました。

ニ) 各種募金活動について会員様の意思を尊重して無理のない形で協力していくことになりました。

ホ) 災害時のごみ一時集積所・立ち寄り所を各町で再確認するとともにごみ一時集積所の場所については事務局に提出する。

ヘ) マイナンバーの取り扱いに関する内規を作成することになったとの連絡がありました。



教育文化芸術部会の

写真パネル展

3月19~21日の連休中、ハイトピア伊賀にて教育・文化・芸術部会が探訪シリーズの写真パネル展を開催しました。年配の人が懐かしく見入っていました。久保部会長は今後も継続していきたいとの意向です。(左の写真)

人権草の根運動推進会議と当自治協共催

人権講演会

3月17日、西部地区市民センターにて上野西部地区人権草の根運動推進会議と上野西部地区自治協共催の人権講演会が開催されました。講師はNPO法人伊賀の伝丸代表理事の和田京子さんでした。「数字と絵で見る多文化共生の町の未来」と題し、前半はクイズ形式で伊賀市を取り巻く外国人の現状について説明頂きました。

伊賀市の外国人の人口比率は約4.4%で三重県の市町村で1位であること、又三重県の外国人の人口比率は約2.25%であり全国3位であること等の説明があり、又若い人が多い外国人を抜きにしてはこれからの日本は(伊賀市も)まわっていかないことを強調されました。後半は10数年前の当時のNHKの番組のDVDを見せて頂きました。

番組は当時の上野市に住むペルー人一家の生活の様子を追った内容でした。



和田さん

いじめ等を受ける厳しい生活から仕事の合間に家族皆で母国の音楽の演奏活動を続け、徐々に日本人と良い関係が生まれていく様子が描かれていました。

家族全員が活動することについて和田さんは家族の共通の思い出作りを大切にす彼らの生活文化を説明され、外国人にも素敵な人がいる事そして外国人と助け合っていける地域づくりを皆で目指しましょうと会場に呼び掛けられました。

尚、最後の挨拶で八尾会長が当上野西部地区では人口の約1割が外国人である為、多文化共生が大変重要であると説明し講演会を終了しました。

5月5日まで 伊賀上野NINJAフェスタ 2016

いよいよNINJAフェスタが始まりました。今年も土日祝を中心にたくさんのイベントが行われます。主なのは次の通りです。(詳細はパンフ又はWeb)

*忍者変身処

メインの変身処はハイトピア伊賀5階です。(土日祝のみ)1着1,000円。平日はぷち忍者変身処が利用できます。

*まちかど忍者道場

市街地6か所に開きます。(土日祝のみ)修業ブックが1,000円ですがブックを購入すれば500円の買い物が出る土符がもらえます。ブックがあれば各道場でお金を払う必要はありません。無い場合は1道場200円が必要です。



2014年のフェスタ

西部地区では西大手駅前吹き矢道場、中町公民館にて行灯火消し道場、三之西町の伊賀傘蔵にて手裏剣打ち&足湯道場が開設されます。平日はぷち忍者道場がありません。忍者パズル道場は今年赤井邸に変わりました。

尚、公式Webサイトが開設されています。スマホやタブレットを持っている方は利用すると便利です。変身処や忍者道場へナビしてくれるアプリが立ちあがります。ポスターにQRコードが印刷されていますので観光客の皆さんに教えてあげましょう。